

聖マリアンナ医科大学病院に入院された患者様・御家族の皆様へ
「多施設における自動算出早期警告スコアの評価
RRS システムでの活用」について

(1) 研究の目的

病院に入院している患者様は、一般人口より状態の悪化・死亡の可能性が高く、より早期・事前に前兆をとらえて対応をする事が重要です。それには救急・集中治療部門の医師・看護師が、緊急に一般病棟に出向き早期対応を行う院内救急対応システム (Rapid Response System: RRS) が有効とされています。この研究は、一般病棟において 24 時間体制で記録されている患者様のバイタルサインから算出した重症度スコアにより、患者様の状態悪化の前兆を検出し自動的に RRS を起動するシステムの開発を目的としています。

研究実施期間: 承認後～2026 年 12 月 31 日

(2) 研究対象について

対象となる患者様は、2019 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの間に、当院一般病棟に入院された 15 歳以上の患者様になります。

年齢、性別、身長、体重やバイタルサインの値(血圧・脈拍・体温・呼吸数・意識状態・酸素投与の有無)、入退院・予後情報、DNAR オーダーの有無、傷病名、併存症が記録されます。本調査は純粋な観察研究であり、患者様にいかなる利益・不利益も生じません。

(3) プライバシーの保護について

この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されません。

(4) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

※ この調査の対象となられる方で、ご自分あるいは御家族の情報を登録したくない場合は 2026 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡下さい。お申し出のあった患者様の情報は削除し、研究データとして使用することはありません。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター

住 所 : 〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

電 話 : 044-977-8111 (代)

担当医師 : 吉田 徹 PHS 80929

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院に入院された患者様・御家族の皆様へ
「多施設における自動算出早期警告スコアの評価
RRS システムでの活用」について

(1) 研究の目的

病院に入院している患者様は、一般人口より状態の悪化・死亡の可能性が高く、より早期・事前に前兆をとらえて対応をする事が重要です。それには救急・集中治療部門の医師・看護師が、緊急に一般病棟に出向き早期対応を行う院内救急対応システム(Rapid Response System: RRS) が有効とされています。この研究は、一般病棟において 24 時間体制で記録されている患者様のバイタルサインから算出した重症度スコアにより、患者様の状態悪化の前兆を検出し自動的に RRS を起動するシステムの開発を目的としています。

研究実施期間: 承認後～2026 年 12 月 31 日

(2) 研究対象について

対象となる患者様は、2019 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの間に、当院一般病棟に入院された 15 歳以上の患者様になります。

年齢、性別、身長、体重やバイタルサインの値(血圧・脈拍・体温・呼吸数・意識状態・酸素投与の有無)、入退院・予後情報、DNAR オーダーの有無、傷病名、併存症が記録されます。本調査は純粋な観察研究であり、患者様にいかなる利益・不利益も生じません。

(3) プライバシーの保護について

この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されません。

(4) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

※ この調査の対象となられる方で、ご自分あるいは御家族の情報を登録したくない場合は 2026 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡下さい。お申し出のあった患者様の情報は削除し、研究データとして使用することはありません。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター

住 所 : 〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1

電 話 : 045-366-1111 (代)

担当医師 : 北野夕佳 PHS 8140

川崎市立多摩病院に入院された患者様・御家族の皆様へ
「多施設における自動算出早期警告スコアの評価
RRS システムでの活用」 について

(1) 研究の目的

病院に入院している患者様は、一般人口より状態の悪化・死亡の可能性が高く、より早期・事前に前兆をとらえて対応をする事が重要です。それには救急・集中治療部門の医師・看護師が、緊急に一般病棟に出向き早期対応を行う院内救急対応システム(Rapid Response System:RRS) が有効とされています。この研究は、一般病棟において 24 時間体制で記録されている患者様のバイタルサインから算出した重症度スコアにより、患者様の状態悪化の前兆を検出し自動的に RRS を起動するシステムの開発を目的としています。

研究実施期間:承認後～2026 年 12 月 31 日

(2) 研究対象について

対象となる患者様は、2019 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの間に、当院一般病棟に入院された 15 歳以上の患者様になります。

年齢、性別、身長、体重やバイタルサインの値(血圧・脈拍・体温・呼吸数・意識状態・酸素投与の有無)、入退院・予後情報、DNAR オーダーの有無、傷病名、併存症が記録されます。本調査は純粋な観察研究であり、患者様にいかなる利益・不利益も生じません。

(3) プライバシーの保護について

この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されません。

(4) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

※ この調査の対象となられる方で、ご自分あるいは御家族の情報を登録したくない場合は 2026 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡下さい。お申し出のあった患者様の情報は削除し、研究データとして使用することはありません。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

川崎市立多摩病院 救急災害医療センター

住 所：〒214-8525 神奈川県川崎市多摩区宿河原 1-30-37

電 話：044-933-8111 (代)

担当医師： 田中 拓 PHS 8071

別紙 研究参加施設

参加施設名	部署	施設責任者	担当者	倫理審査
岡山済生会総合病院	救急科	野崎 哲		中央一括審査
済生会横浜市東部病院	集中治療科	高橋宏行		中央一括審査
大阪公立大学医学部附属病院	血液腫瘍制御学/臨床検査・医療情報医学	岡村浩史		中央一括審査
東京都立多摩総合医療センター	救命救急センター	濱口 純		中央一括審査
大阪府済生会千里病院	千里救命救急センター	伊藤裕介		自施設
横須賀市立うわまち病院	集中治療部 救急総合診療部	岩澤孝昌 内倉淑男		中央一括審査
京都府立医科大学	集中治療部	早瀬一馬	木村哲也	中央一括審査
国際医療福祉大学成田病院	救急科	遠藤拓郎		中央一括審査
東京ベイ浦安市川医療センター	総合内科	江原 淳		自施設
練馬光が丘病院	総合救急診療科 集中治療部門	片岡 惇		自施設
昭和大学横浜市北部病院	医療安全管理室	福島光浩		自施設
社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	救命救急センター	渥美生弘		中央一括審査
社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院	医療の質管理室 早期患者対応室	坂田 稔		自施設
市立奈良病院	救急集中治療センター	後藤安宣		自施設
東京北医療センター	外科	宮崎国久		自施設
伊東市民病院	外科	神谷紀之		自施設
兵庫医科大学病院	ICU	井手 岳		自施設
佐賀大学医学部附属病院	集中治療部	中川内章		自施設
山梨県立中央病院	集中治療科	池田督司		自施設
高知医療センター	救命救急センター	盛實篤史		自施設

横浜市立大学病院	集中治療部	高木俊介		自施設
横浜市立市民病院	麻酔科	山口嘉一		自施設
広島大学	救急集中治療医学	志馬伸朗		自施設
昭和大学藤が丘病院	集中治療科	佐藤督忠		自施設